

令和元年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等報告書

西都市教育委員会

報 告 書

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、令和元年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等について、報告書を提出する。

令和2年9月29日

西都市教育委員会

教育長 川 井 田 和 人

○自己点検・評価の考え方

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、平成20年度から教育委員会の権限に属する事務の全てにおいて、その管理・執行状況について点検及び評価を行うこととなった。

西都市教育委員会としては、これまでも本市の教育の発展のために様々な事業に着手し、その効果等を踏まえて改革に取り組んできたところである。

教育政策効果を把握し、必要性、効率性等の観点から自ら評価を行い、その結果を公表することは施策を的確に遂行するとともに住民に対する説明責任を果たす上で重要であることから、法の趣旨にのっとり具体的な内容の評価・点検を行うこととした。

○点検・評価について

「教育委員会の活動」「教育委員会が管理・執行する事務」「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」の3つの項目に大分類した。

項 目	点検・評価方法
大項目1 教育委員会の活動	教育委員会の会議の運営改善、保護者や地域住民への情報発信などを中項目とし、それぞれに小項目を設定して点検・評価を行う。
大項目2 教育委員会が管理・執行する事務	西都市教育長に対する事務委任規則第2条の規定に基づき中項目を設定して点検・評価を行う。
大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	事務事業の目的・内容に対する点検、評価を行い、その達成度を5段階評価とする。 評価5 達成度概ね100% 評価4 達成度概ね 80% 評価3 達成度概ね 60% 評価2 達成度概ね 40% 評価1 達成度20%未満

○評価委員会について

「教育に関する事務の点検・評価委員会設置要綱」に基づき、委員3名を委嘱し、上記の点検・評価の結果について意見等を求め、その客観性及び透明性を確保する。

○公表について

「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等報告書」を議会へ提出するとともに、市のホームページで公表する。

西都市教育委員会の自己点検・評価シート

大項目 1 教育委員会の活動

中項目	小項目	点検・評価
(1) 教育委員会の会議の運営改善	① 教育委員会会議の開催回数	定例会を毎月1回開催した。また、必要に応じ臨時会を2回開催した。上程議案は53件であり、全件とも承認であった。
	② 教育委員会会議の運営上の工夫	定例会において2か月後の定例会開催日時を決定し、全員出会できるよう調整した。また、会議の5日前までに資料を事前配付した。このことにより各委員が十分に内容把握の上、委員会での検討ができた。
(2) 教育委員会の会議の公開、保護者や地域住民への情報発信	① 教育委員会会議の傍聴者の状況	傍聴希望の申し込みはなかった。
	② 議事録の公開、広報・公聴活動の状況	教育委員会会議の議事録をホームページへ公開した。
(3) 教育委員会と事務局との連携	① 教育委員会と事務局との連携	委員会の会議が事後承諾にならないように、事前に資料提供を受け、各委員が十分に内容把握の上、委員会での検討を行った。令和元年度も、会議5日前の情報提供が、概ね達成できた。
(4) 教育委員会と首長部局の連携	① 教育委員会と首長との意見交換会の実施	下記のとおり首長部局との連携を図った。 ・市長、教育長及び教育委員4名による総合教育会議を2回開催し、市立中学校の適正規模及び再編基本方針等について協議を行った。
(5) 教育委員の自己研鑽	① 研修会への参加状況	下記のとおり研修を行った。 ・児湯教育委員会連絡協議会夏季研修会に教育長及び委員4名参加 ・児湯教育委員会連絡協議会研修会に教育長及び委員4名参加 ・県主催市町村教育委員会新任委員研修会に委員1名参加 ・九州地区市町村教育委員会研修大会に教育長及び委員4名参加 ・全国都市教育長協議会総会並びに研究大会に教育長参加

中項目	小項目	点検・評価
(6) 学校及び教育施設 に対する支援・条 件整備	① 学校支援訪問	小中学校（分校を含む）の学校支援訪問を実施し、教育課程及び学習指導、生徒指導について適切な指導助言を行うことができた。学校ごとに隔年で県教育委員会に支援を求め、県との合同訪問を行っており、令和元年度は3校で実施した。
	② 所管施設の訪問	小中学校（分校を含む）の学校支援訪問に併せて、学校施設の視察を行った。
	③ 学校経営ビジョン 説明会への参加	校長から学校経営に係る方針、今年度の主な取組、課題について説明を受け、情報の共有を図った。

大項目 2 教育委員会が管理・執行する事務

中項目	点検・評価
(1) 学校教育又は社会教育に関する一般方針の決定に関すること	平成27年度に策定された、第四次西都市総合計画後期計画（平成28年度～32年度）及び西都市教育大綱に基づき、令和元年度教育基本方針並びに教育施策の内容を見直し、令和2年度教育基本方針並びに教育施策を定めた。（3月定例会において承認確定）
(2) 学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること	令和元年度中の設置・廃止はなかった。
(3) 教科内容及びその取扱いの一般方針の決定に関すること	小中高一貫教育に伴う「さいと学」「英語活動」「英会話科」「英語表現科」の充実を目指し、各学校の実態に応じた異校種間の乗り入れ授業の推進を図った。
(4) 教育委員会事務局及び学校その他の教育機関の職員の任免に関すること	令和2年4月の人事異動に際し、市長部局からの職員の人事交流についての協議に対して承諾を行い、その結果が異動に反映された。
(5) 県費負担に係る校長の任免及び人事並びに県費負担に係る教職員の人事の内申に関すること	令和2年4月の人事異動に際し、県の人事異動方針をふまえ人事に関する内申を行い、概ねその意向が異動に反映された。
(6) 前2号に定めるもののほか、人事の一般方針及び分限（本人の意に反する場合）又は懲戒に関すること	教育委員会事務局の人事については、市長部局と交流を図るなど協議を行った。 分限及び懲戒については市長部局の基準を準用している。 県費負担教職員の人事については、県教育委員会にて対応している。 分限及び懲戒については、市町村立学校職員の分限に関する条例及び市町村立学校職員の懲戒に関する条例により県教育委員会にて対応している。令和元年度中の分限懲戒の対象者は無かった。

中項目	点検・評価
<p>(7) 学校その他の教育機関の敷地の設定又は変更に関する事</p>	<p>令和元年度中においての設定又は変更は無かった。</p>
<p>(8) 教育委員会規則及び規程の制定及び改廃に関する事</p>	<p>「西都市部活動指導員設置要綱」「西都市地域学校協働活動運営委員会設置要綱」を制定した。 「西都市立小中学校市費負担臨時教員設置規則」「西都市教育支援センターの設置に関する規則」「西都市奨学資金貸付条例施行規則」「西都市青少年育成センター規則」「西都市市立図書館組織規則」の一部改正を行った。 「西都市立小中学校市費負担臨時教員設置規則」「西都市社会教育指導員に関する規則」「西都市立小中学校非常勤職員設置要綱」「都於郡城跡ガイダンスセンター建設検討委員会設置要綱」を廃止した。</p>
<p>(9) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案に関する事</p>	<p>下記のとおり原案の承認を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6月補正予算 (5月定例会) 1件 ・ 9月補正予算 (8月定例会) 1件 ・ 12月補正予算 (11月定例会) 1件 ・ 3月補正予算 (2月定例会) 1件 ・ 新年度予算 (2月定例会) 1件 ・ その他法改正等に伴う条例改正等の原案 5件
<p>(10) 教育委員会の所管に属する各種委員会委員の任命又は委嘱に関する事</p>	<p>下記のとおり委嘱又は任命した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 西都市教育研究センター主事及び事務職員の任命並びに主任研究員及び研究員の委嘱 (4月定例会) ・ 西都市学校給食共同調理場運営審議会委員の委嘱 (4月定例会) ・ 西都市青少年育成センター青少年指導委員の委嘱 (4月定例会) ・ 西都市文化財保存調査委員会委員の委嘱 (4月定例会) ・ 西都市歴史民俗資料館運営協議会委員の委嘱 (4月定例会) ・ 西都市地域学校協働活動運営委員会委員の委嘱 (4月定例会) ・ 西都市社会教育委員の委嘱 (5月定例会) ・ 西都市公民館運営審議会委員の委嘱 (5月定例会) ・ 西都市市立図書館協議会委員の任命 (5月定例会) ・ 西都市学校再編調査検討委員会委員の委嘱 (6月定例会) ・ 西都市部活動指導員の委嘱 (7月定例会) ・ 日向国府跡保存整備検討委員会委員の委嘱 (9月定例会) ・ 西都市立学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱 (3月定例会)
<p>(11) 校長及び教職員の研修の一般方針の決定に関する事</p>	<p>令和元年度教育施策を検討する中で、教職員研修の充実に関する内容を定めた。</p>

中項目	点検・評価
(12) 通学区域の設定又は変更に関する事	令和元年度中の設定・変更はなかった。
(13) 西都市文化財保護条例による文化財の指定及び解除に関する事	令和2年3月31日付で大般若波羅密多經(麟祥院蔵)を市指定有形文化財美術工芸品に登録した。また、市指定有形文化財美術工芸品の黒貫寺蔵の仏像3軀・厨子1基の内、木造聖観音坐像及び木造大日如来坐像が県指定美術工芸品へ格上げとなったことにより、木造薬師如来立像及び黒漆塗り厨子(黒貫寺蔵)を新たに市指定有形文化財美術工芸品として登録した。
(14) 請願、陳情及び訴訟又は異議の申立てに関する事	令和元年度中の訴訟・異議の申立てはなかった。
(15) 行政手続法及び西都市行政手続条例に基づく審査基準及び処分基準の制定又は改廃に関する事	令和元年度中の制定・改廃はなかった。

大項目 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目 1 学校教育の充実

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価	
(1) 教育委員運営事業	<p>【目的】 地方自治法において設置が義務付けられる教育委員会において、教育方針の決定等を行うために必要な支援をすることを目的とする。</p> <p>【内容】 1. 教育委員会会議 教育方針の決定、教育委員会事務局に関する議案等について、調査・審議を行う。 (1) 定例教育委員会 (毎月1回) (2) 臨時教育委員会 (随時)</p> <p>2. 学校訪問 市内小中学校における教育課程、学習指導及び生徒指導等について、教育委員より指導助言を計画的に行う。</p> <p>3. 教育委員研修会・連合会総会等 教育委員の資質向上、先進地情報の取得及び情報交換等を目的に会議、研修会へ出席により教育行政に反映させる。</p> <p>4. 学校経営ビジョン説明会への参加 校長から学校経営に係る方針、今年度の主な取組、課題について説明を受け、情報を共有し、学校教育と教育行政が協働して本市教育上の課題を解決する手立て等について協議を行う。</p> <p>【効果】 定期的な教育委員会会議の開催により意思形成を円滑に進めることができ、また、教育委員の資質向上及び情報取得等を目的に委員が総会及び研修会等に参加することにより、その成果を教育方針及び教育行政へ反映することができる。</p> <p>【指標】 教育委員会開催回数 15回</p> <p>【令和元年度当初予算額】 2,370千円</p>	<p>1. 教育委員会会議 ・ 定例会 12回 (毎月1回) ・ 臨時会 2回 (随時) ・ 上程議案 53件 (全件承認) ・ 教育方針の見直し 3月定例会</p> <p>2. 学校支援訪問 ・ 市主催 7校 ・ 県市合同 3校</p> <p>3. 教育委員研修会・連合会総会等 ・ 児湯教育委員会連絡協議会総会に教育長及び委員4名参加 ・ 児湯教育委員会連絡協議会夏季研修会に教育長及び委員4名参加 ・ 児湯教育委員会連絡協議会研修会に教育長及び委員4名参加 ・ 県主催市町村教育委員会新任委員研修会に委員1名参加 ・ 宮崎県市町村教育委員会連合会総会に委員2名参加 ・ 市町村教育委員会委員長・教育長会議に教育長及び委員2名参加 ・ 宮崎県都市教育長協議会に教育長が参加 (2回) ・ 九州地区市町村教育委員会研修大会に教育長及び委員4名参加 ・ 全国都市教育長協議会総会並びに研究大会に教育長参加</p> <p>4. 学校経営ビジョン説明会 ・ 6/27、7/1、7/9に実施</p> <p>【実績】 教育委員会開催回数 14回</p> <p>【令和元年度決算額】 2,306千円</p> <p>【指標等の達成状況】 教育委員会開催回数については、毎月開催する定例教育委員会12回及び臨時教育委員会は、今回は人事議案に係る臨時会を2回開催した。また、その他の行事等についてはほぼ予定どおり実施できた。</p>	5
(2) 事務局管理費	<p>【目的】 諸ニーズに即した学校再編、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づく教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価など、教育の充実及び教育委員会事務局の運営に資することを目的とする。</p> <p>【内容】 1. 教育長公務調整事務 2. 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価事務 3. 学校再編に係る事務 4. 教育委員会表彰事務 5. 奨学生等選考委員会による奨学生等の選考事務 6. 教育委員会マイクロバスの更新及び運行管理</p>	<p>1. 教育長公務を教委定例課長及び補佐会 (月1回) 時及び随時に調整</p> <p>2. 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を令和元年9月末に策定し、10月に市議会へ報告</p> <p>3. 市立中学校の適正規模について、「市立中学校の適正規模についてのアンケート調査」を実施し、西都市学校再編調査検討委員会において、調査・研究を行い結果報告を受けた。 この報告を受け、令和2年2月26日の定例教育委員会において、「西都市中学校再編基本方針」を策定し、市立中学校の再編推進を決定した。 また、総合教育会議を定期的に開催し、西都市学校再編調査検討委員会の状況等、情報共有を図った。</p> <p>4. 教育表彰 小学生4名、中学生12名 教育奨励賞 銀鏡六男氏、伊達真一氏</p>	5

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価
	<p>7. 小中学校の文書送達及び回収業務</p> <p>【効果】 教育委員会による教育方針を受けて生じる教育委員会事務局事務について、学校教育及び社会教育の枠を超えたこの事業で行うことで、効率的に運営することができる。</p> <p>【令和元年度当初予算額】 7, 464千円</p>	<p>5. 奨学資金基金の新規貸付数 7名 6. 教育委員会マイクロバス稼働日数 113日 7. 小中学校の文書送達及び回収業務を(社)西都市シルバー人材センターへ業務委託し実施。</p> <p>【令和元年度決算額】 7, 391千円</p> <p>【指標等の達成状況】 上記のとおり、市立中学校の再編に関し方向性を定めることができた。その他の事務についても概ね予定どおり実施できた。</p>
<p>(3) 教職員住宅管理事業</p>	<p>【目的】 教職員住宅の維持管理を目的とする。</p> <p>【内容】 教職員住宅15戸の維持管理費。主なものは、修繕費、借地料など。</p> <p>【効果】 ほとんどの教職員住宅が学校の近くにあり、緊急時に対応ができる。</p> <p>【令和元年度当初予算額】 3, 695千円</p>	<p>下記のとおり教職員住宅の維持管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修繕件数 7件 ・敷地賃借件数 7件 ・未入居戸数 5戸 ・譲与件数 2件 ・所管替件数 1件 (農政課) <p>【令和元年度決算額】 1, 173千円</p> <p>【指標等の達成状況】 教職員住宅の修繕を7件行い、入居者の要望に沿った維持管理を実施した。また、長年入居者が無かった銀鏡地区の2棟を無償で譲与し、妻南地区の1棟を農政課へ移管した。その他の事務については、概ね予定どおり実施できた。</p>
<p>(4) 山村留学振興事業</p>	<p>【目的】 銀鏡地区における地域教育の振興及び地域の活性化を図ることを目的とする。</p> <p>【内容】 1. 山村留学制度実施事業に対する支援 西都市山村留学制度実施事業補助金交付要綱に基づき、山村留学児童生徒が銀鏡地区において生活することとなる家庭(里親)に対する委託料(留学児童生徒が生活等行ううえで必要となる最低限の費用)、地域住民との交流経費及び山村留学制度PR費等の一部について補助し、地域教育の振興及び地域の活性化を図る。 2. 銀上小学校・銀鏡中学校に係る区域外就学児童生徒の通学に対する支援 西都市立銀上小学校及び銀鏡中学校に係る区域外通学生に対する通学助成金交付要綱に基づき、区域外通学する児童生徒の保護者の負担軽減を図る。</p> <p>【効果】 地域教育の維持が可能となると共に、地域活動の充実による地域活性化と地域経済に対する効果が生じている。また、山村留学制度を銀鏡地区のPRツールとすることにより、銀鏡地区の情報発信効果、更には高付加価値</p>	<p>奥日向銀上山村留学実行委員会に対し、里親経費や広報活動経費等を対象とした補助金を交付した。</p> <p>【実績】 山村留学児童生徒数 16名</p> <p>【令和元年度決算額】 6, 150千円</p> <p>【指標等の達成状況】 実施主体である実行委員会に対し、事業内容に沿った支援を実施することで、地域教育の維持及び地域の活性化を図ることができた。指標である山村留学児童生徒数は16名の実績であったが、人数に応じた経費等の支援は概ね達成できた。</p>

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価
	<p>化を得ることができている。</p> <p>【指標】 山村留学児童生徒数 18名</p> <p>【令和元年度当初予算額】 7,560千円</p>	
(5) 小学校管理事務費	<p>【目的】 安全・安心で快適な教育環境を確保するため、学校施設設備の維持管理を行う。</p> <p>【内容】 主なものは以下のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校事務職員に関すること ・施設維持管理に関すること ・施設改修工事に関すること ・学校一般備品に関すること <p>【効果】 学校施設設備等を適切に管理することで、児童の安全・安心で快適な教育環境を確保することができる。</p> <p>【令和元年度当初予算額】 295,100千円</p>	<p>下記のとおり小学校の学校施設設備の維持管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市費事務職員数 7名 ・委託件数 34件 学校長寿命化計画策定業務、警備、空調設備保守、環境整備、自家用電気工作物保安管理、消防施設等点検業務ほか ・工事件数 21件 三納小空調機器機能復旧工事、都於郡小照明器具改修工事、妻南小外構工事、三財小屋内運動場屋根塗装ほか工事、穂北小職員トイレシャワーブース設置工事、妻北小多目的室電気設備改修工事、都於郡小水路土砂撤去工事 ・備品購入件数 22件 プール用マット、両面ボール型時計、ワイヤレスアンプ ほか <p>【令和元年度決算額】 262,365千円</p> <p>【指標等の達成状況】 校舎等の修繕を142件実施するとともに空調機器機能復旧等の工事を実施することで、安全・安心な教育環境を確保することができた。その他の事務については、概ね予定どおり実施できた。</p>
(6) 小学校教育振興事業	<p>【目的】 小学校教育振興のため。</p> <p>【内容】 主なものは以下のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材及び図書に関すること ・特別支援教育に関すること ・遠距離通学費補助に関すること ・就学援助に関すること <p>【効果】 授業の中で効果的に活用できる教材等を整備することで、各学校で定めた教育目標の達成や児童の学校生活・授業が充実し、教育水準の維持・向上を図ることができる。</p> <p>【令和元年度当初予算額】 28,965千円</p>	<p>下記のとおり小学校の教育振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備品購入件数 88件 理科、教材、図書備品 ・遠距離通学補助交付児童数 48名 第2条第1号該当 31名(4km以上) 第2条第3号該当 17名(指定する学校でバス利用) ・就学援助児童数 149名 <p>【令和元年度決算額】 26,737千円</p> <p>【指標等の達成状況】 理科備品、教材備品及び図書を購入し、学校生活・授業の充実を図ることができた。また、補助及び扶助について適正な処理を行い、保護者の負担軽減を図ることができた。その他の事務については、概ね予定どおり実施できた。</p>

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価
(7) 中学校管理事務費	<p>【目的】 安全・安心で快適な教育環境を確保するため、学校施設設備の維持管理を行う。</p> <p>【内容】 主なものは以下のとおり ・学校事務職員に関すること ・施設維持管理に関すること ・施設改修工事に関すること ・学校一般備品に関すること</p> <p>【効果】 学校施設設備等を適切に管理することで、生徒の安全・安心で快適な教育環境を確保することができる。</p> <p>【令和元年度当初予算額】 106,404千円</p>	<p>下記のとおり中学校の学校施設設備の維持管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市費事務職員数 5名 (うち2名は小学校兼務) ・委託件数 25件 学校長寿命化計画策定業務、警備、空調設備保守、環境整備、自家用電気工作物保安管理、消防施設等点検業務ほか ・工事件数 5件 銀鏡中フェンス等設置工事、三財中屋内運動場屋根塗装工事、三納中屋内運動場屋根塗装工事 ・備品購入件数 14件 乗用モア、配膳台、シュレッダーほか <p>【令和元年度決算額】 98,244千円</p> <p>【指標等の達成状況】 校舎等の修繕を91件実施するとともに、屋内運動場屋根防水等の工事を実施することで、安全・安心な教育環境を確保することができた。その他の事務については、概ね予定どおり実施できた。</p>
(8) 中学校教育振興事業	<p>【目的】 中学校教育振興のため。</p> <p>【内容】 主なものは以下のとおり ・教材及び図書に関すること ・特別支援教育に関すること ・遠距離通学費補助に関すること ・就学援助に関すること</p> <p>【効果】 授業の中で効果的に活用できる教材等を整備することで、各学校で定めた教育目標の達成や生徒の学校生活・授業が充実し、教育水準の維持・向上を図ることができる。</p> <p>【令和元年度当初予算額】 21,830千円</p>	<p>下記のとおり中学校の教育振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備品購入件数 64件 理科、教材、図書備品 ・遠距離通学補助交付生徒数 4名 第2条第2号該当 4名 (6km以上) ・就学援助生徒数 75名 <p>【令和元年度決算額】 17,886千円</p> <p>【指標等の達成状況】 理科備品、教材備品及び図書を購入し、学校生活・授業の充実を図ることができた。また、補助及び扶助について適正な処理を行い、保護者の負担軽減を図ることができた。その他の事務については、概ね予定どおり実施できた。</p>
(9) 幼稚園奨励事業	<p>【目的】 所得に応じた保護者の経済的負担の軽減と、公・私立幼稚園間の保護者負担の格差是正を目的に、幼稚園の入園料及び保育料を軽減し、もって幼稚園教育の振興に資する。</p> <p>【内容】 文科省の補助金交付要綱に基づき、私立幼稚園に在園する満3歳以上の幼</p>	<p>補助の対象となる幼児がいなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金交付幼稚園数 0園 ・補助金交付園児数 0名 <p>【令和元年度決算額】 0千円</p>

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価	
	<p>児の保護者で本市に居住する者に対して保育料等を減免する当該幼稚園設置者へ補助金を交付する。 平成 27 年度から、子ども・子育て支援新制度が実施され、新制度に移行した幼稚園は、補助対象外となっており、現在市内に対象となる幼稚園はないため、市外の対象となる幼稚園に通園する幼児がいる場合に補助金が交付される。</p> <p>【効果】 文科省により増設された「多子軽減」については、保護者の第 2 子以降の出産・子育て等に対する負担軽減措置として少子化対策の一助となることが期待できる。</p> <p>【令和元年度当初予算額】 370 千円</p>		
(10) 教育振興事業	<p>【目的】 学校教育の内容の充実を図る事を目的とする。</p> <p>【内容】 学校教育の教育内容の充実を図るため、以下の事業を行う。 ・教育指導支援に関すること ・就学指導に関すること ・教育文化に関すること ・教科用図書及び副読本に関すること ・教職員の研修に関すること</p> <p>【効果】 学校教育の充実に寄与する。</p> <p>【令和元年度当初予算額】 49,464 千円</p>	<p>市内小中学校の学校教育の充実を推進するため、以下の事業に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内全小中学校への学校支援訪問を実施 11 校 ・県指定重点支援校への支援訪問 穂北中 ・全小中学校に学校評議員を委嘱 55 名 ・市主催の教職員研修等を企画・実施 初任者研修、初赴任者研修、授業力 brush-up 研修等 ・Q-U による、学校生活意欲、学級満足度の調査を実施 ・就学指導を実施 就学前児童への観察・就学相談、教育支援委員会 ・教育支援センター「みつばルーム」を運営 ・教育文化祭を開催 出品数 654 点 来場者数 974 名 ・各事業費補助 各教科等部会、生徒指導推進協議会、人権教育推進協議会 ・西都市立中学校大会等参加費助成金 ・市費負担臨時教員の配置 常勤 3 名、非常勤 3 名 ・部活動支援員の配置 3 名 <p>【令和元年度決算額】 40,817 千円</p> <p>【指標等の達成状況】 学校支援訪問等で、適切な指導助言等を行うとともに、市主催の職員研修や各事業に補助金を交付し支援を行うことをとおして、教職員の指導力向上を図ることができた。また、幼稚園、保育所等関係機関と連携し、教育相談、園児の観察を行い、教育支援委員会を開催し適切な就学指導を行うことで、保護者に対し就学に対する支援を行うことができた。教育支援センターの運営、その他の事務については、概ね予定どおり実施できた。</p>	4
(11) 学校生活支援員派遣事業	<p>【目的】 学校生活支援員を派遣することで、小中学校に在学する障がい等がある児童生徒が、支障なく安全に学校生活を送ることができることを目的とする。</p>	<p>下記のとおり学校生活支援員の派遣を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣小学校数 6 校 対象児童数 85 名 派遣支援員数 18 名 ・派遣中学校数 1 校 対象生徒数 13 名 派遣支援員数 2 名 	5

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価	
	<p>【内容】 支援が無くては学校生活において支障があると認められる児童生徒に対し、学校内における身辺処理、移動、校外活動等の支援を行うための学校生活支援員の派遣を行う。</p> <p>【効果】 支援を行うことで、支援を必要とする児童生徒の安全な学校生活が確保できるとともに、学校及び教員の負担の軽減ができる。</p> <p>【令和元年度当初予算額】 32,193千円</p>	<p>【令和元年度決算額】 29,425千円</p> <p>【指標等の達成状況】 児童生徒に対する支援の申請に対し、教育支援委員会及び学校での状況観察及び保護者の意見等を取り入れ、適正な学校生活支援員の派遣を行った。また、学校、委託先との連携により、要望に沿った支援を行うことで、児童生徒が安全に学校生活を送ることができ、学校及び教職員の負担軽減を図ることができた。</p>	
<p>(12) 総合的な学習の時間等の学社連携・融合支援事業</p>	<p>【目的】 地域の人々との交流や地域の文化や自然に触れる体験活動、児童生徒の自主的な活動を通じて、児童生徒の郷土愛を深めるとともに、自発性や探求心を育てる各学校の取組を充実させることを目的とする。</p> <p>【内容】 総合的な学習の時間及び生活科等の時間に地域の方々を講師に招くなどして、地域との連携や交流を取り入れた学習活動を支えるための報償費や一般消耗品費を予算化し、各学校を支援する。</p> <p>【効果】 児童生徒の探求心が育つとともに、地域の方を敬う気持ちや地域の自然や文化を守っていこうとする心情と態度を育成できる。</p> <p>【令和元年度当初予算額】 1,693千円</p>	<p>総合的な学習の時間の学習活動を支援するために、下記のとおり講師を招聘した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 35名 ・中学校 28名 <p>【令和元年度決算額】 1,240千円</p> <p>【指標等の達成状況】 各小・中学校の特色に応じた講師を招聘し、地域の方々との交流を通して、地域の伝統文化や農業等を体験することにより、地域の方を敬う気持ちや郷土愛を育む取組を実践した。その他の事務については、概ね予定どおり実施できた。</p>	5
<p>(13) 教育研究センター運営事業</p>	<p>【目的】 西都市独自の教育研究機関を設置し、研究員のニーズに応じた講座や「日常授業の改善」につながる個人研修を計画的に実施し、研究員等の資質の向上を図り、各学校に還元する。</p> <p>【内容】 西都市の教育的課題を解決するために以下についての調査研究を行う。 (1) 指導力向上、日常授業の改善に関すること (2) 研究結果の普及に関すること 市内の各小中学校から13名の研究員を委嘱し、毎月研究会を開催し、市内全小中学校の教諭等が参加する研究発表会を年度末に開催する。</p>	<p>西都市教育研究センターにおいて、下記のとおり調査研究を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究員を委嘱 主任研究員 1名 研究員 13名 ・研究班 グループ及び個人研修 ・研究テーマ 「日常授業の改善」 ・実施回数 毎月2回程度 ・講座 ・個人研修 ・県外視察 ・市教育研究センターの研究発表報告会 <p>【令和元年度決算額】 1,147千円</p>	5

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価	
	<p>【効果】 市の教育課題等について、13名の小中学校教諭等によって調査研究を行い、各校での取組の参考となる研究成果を発表することができている。 また、学力向上につながる講座を年8回行うことで、研究員の力量を高めることができている。</p> <p>【令和元年度当初予算額】 1, 442千円</p>	<p>【指標等の達成状況】 西都市の課題である「学力向上」につながる「日常授業の改善」という一つのテーマに対して、班別に研究していくスタイルから個人テーマを決めて研究を行い、研究員一人一人の資質を高め、学習内容の定着を図る意識づけができた。また、講座についても、具体的な内容が多く、日々の授業に生かすことができた。その研究の内容や成果を市の研究会を通し、各学校に還元することができた。</p>	
<p>(14) 小中高一貫教育推進事業</p>	<p>【目的】 平成20年度から開始している小中高一貫教育であり、小中高12年間の継続的計画的な指導により、西都の子どもたちの郷土愛の育成や学力向上を図ることを目的とする。</p> <p>【内容】 小中高12年間を通した教育活動を基盤に、西都市のことや生き方について学習する「さいと学」、小学校1年生から始める英語教育の「小学校英語活動」「小学校英会話科」「中学校英語表現科」、市内中学校等における外国語指導助手 (ALT) 配置、さらに教師の相互乗り入れや児童生徒の交流活動等を行う。</p> <p>【効果】 学校種間の接続・移行を円滑に行い、地域に自信と誇りを持ち、地域に貢献する人材の育成と確かな学力の定着が期待される。</p> <p>【令和元年度当初予算額】 23, 265千円</p>	<p>連携型一貫教育を推進するため、以下の事業に取り組んだ。 ・外国語指導助手(ALT) 4名を雇用し、全小・中学校へ配置 ・読書活動推進員を配置 10名 ・英語検定の検定料補助 小学校6年生 285名 正答率 82.9% 中学校2・3年生 239名 合格率 20.1% ・聖陵セミナーへの支援 中学校3年生 58名 ・副読本の増刷 わたしたちの西都 ・パンフレット等印刷 We love Saito の挿絵掲示物</p> <p>【令和元年度決算額】 21, 645千円</p> <p>【指標等の達成状況】 外国語指導助手(ALT) 4名を配置し、小学校1年生から中学校3年生までを対象としたきめ細かな英語教育を行うことで、国際理解と英語への興味関心を高めることができた。また、「さいと学」の実施、「聖陵セミナー」などの地元高等学校による授業等を実施し、小中高連携による取組を行うことができた。</p>	<p>5</p>
<p>(15) 学校保健管理費</p>	<p>【目的】 小中学校における児童生徒及び教職員の健康や保健衛生の保持・増進及び学校体育による児童生徒の体力向上の増進や健全育成を目的とする。</p> <p>【内容】 児童生徒及び教職員の健康診断、環境衛生検査、児童生徒等に対する保健指導等を行うため、以下の事業を行う。 ・学校嘱託医、学校薬剤師に関すること ・児童生徒及び教職員の健康診断等に関すること ・就学時健診に関すること ・災害共済給付金に関すること ・準要保護児童生徒に係る医療扶助に関すること ・その他学校の保健衛生に関すること 学校体育の推進のため、以下の事業を行う。 ・小学校体育連盟の行う事業に対する補助等に関すること</p>	<p>小中学校の保健衛生等の保持・増進を推進するために、以下の事業を行った。 ・各学校に学校医、学校歯科医及び学校薬剤師を委嘱 学校医 内科医10名 眼科医2名 耳鼻咽喉科医2名 学校歯科医 9名 学校薬剤師 5名 ・学校医等による児童生徒の健康診断を実施 2, 359名 ・就学時健康診断の実施 対象者216名 ・教職員の健康診断を実施 199名 ・日本スポーツ振興センターの災害共済保険制度に加入 保険給付実績 小学校 137件 368, 192円 中学校 172件 1, 071, 545円 ・準要保護児童生徒の歯科治療に係る医療扶助 小学校 17件 36, 840円 中学校 13件 29, 000円 学校体育による体力向上や健全育成のために、以下に対する補助を行った。</p>	<p>5</p>

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価											
	<p>・中学校体育連盟の行う事業に対する補助等に関すること 小中学校の学校保健、学校安全の充実のため、以下の事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の各種検査（尿、脊柱側弯、貧血） ・学校環境衛生指導（飲料水、プール水、ダニ検査等） <p>【効果】 学校における教育活動が安全な環境において実施され、児童生徒等の安全・安心の確保及び体力向上の増進や健全育成が図られる。</p> <p>【令和元年度当初予算額】 21,355千円</p>	<p>・西都市小学校体育連盟事業費補助金 陸上記録会の実施に対する補助。なお、水泳大会は、校長会等において、近年の猛暑を考慮し児童及び教職員の安全確保を最優先に検討された結果、各学校での実施となった。 小中学校における学校保健及び学校安全の充実のために、以下の事業を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境衛生調査を実施 水質検査、空気検査、ダニ検査等 ・児童の各種検査を実施 <table border="0"> <tr> <td>尿検査</td> <td>1,604名</td> </tr> <tr> <td>脊柱側弯症検査</td> <td>283名</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の各種検査を実施 <table border="0"> <tr> <td>尿検査</td> <td>738名</td> </tr> <tr> <td>貧血検査</td> <td>552名</td> </tr> <tr> <td>脊柱側弯症検査</td> <td>237名</td> </tr> </table> <p>【令和元年度決算額】 18,686千円</p> <p>【指標等の達成状況】 学校医及び学校歯科医と連携した、児童生徒の健康診断、就学時健康診断を実施、教職員を対象とした健康診断を実施することで健康の保持・増進を図ることができた。学校薬剤師と連携し、保健衛生に関する相談、指導を行うことにより、教育環境の改善を図ることができた。また、準要保護児童生徒への医療扶助、小体連、中体連への補助に対し適正な処理を行うことで、保護者の負担軽減を図ることができた。その他の事務については、概ね予定どおり実施できた。</p>	尿検査	1,604名	脊柱側弯症検査	283名	尿検査	738名	貧血検査	552名	脊柱側弯症検査	237名	
尿検査	1,604名												
脊柱側弯症検査	283名												
尿検査	738名												
貧血検査	552名												
脊柱側弯症検査	237名												
<p>(16) 小学校保健管理事業</p>	<p>【目的】 小学校における学校保健及び学校安全の充実を目的とする。</p> <p>【内容】 小学校の学校保健、学校安全の充実のため、以下の事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校保健室備品及び消耗品購入 <p>【効果】 小学校における教育活動が安全な環境において実施され、児童の安全・安心の確保が図られる。</p> <p>【令和元年度当初予算額】 860千円</p>	<p>小学校における学校保健及び学校安全の充実のために、以下の事業を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健室の消耗品、医薬品及び備品を購入 <p>【令和元年度決算額】 822千円</p> <p>【指標等の達成状況】 学校保健事業を充実させるため、養護教諭との密な連携を図り、保健室の環境を充実させることができた。</p>	<p>5</p>										
<p>(17) 中学校保健管理事業</p>	<p>【目的】 中学校における学校保健及び学校安全の充実を目的とする。</p> <p>【内容】</p>	<p>中学校における学校保健及び学校安全の充実のために、以下の事業を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健室の消耗品、医薬品及び備品を購入 <p>【令和元年度決算額】 421千円</p>	<p>5</p>										

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価
	<p>中学校の学校保健、学校安全の充実のため、以下の事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校保健室備品及び消耗品購入 <p>【効果】 中学校における教育活動が安全な環境において実施され、生徒の安全・安心の確保が図られる。</p> <p>【令和元年度当初予算額】 436千円</p>	<p>【指標等の達成状況】 学校保健事業を充実させるため、養護教諭との密な連携を図り、保健室の環境を充実させることができた。</p>
<p>(18) 給食センター管理費</p>	<p>【目的】 「学校給食衛生管理基準」に基づいた、安全でおいしい学校給食を欠かさず提供することを目的とする。</p> <p>【内容】 西都市内の小中学校の児童生徒への学校給食提供に必要な管理運営を行う。 銀鏡地区を除く小中学校には、共同調理場方式で給食センターから提供している。銀鏡地区については、銀鏡中の調理場で調理を行い、単独校調理方式で銀上小学校にも提供している。</p> <p>【効果】 安全でおいしい学校給食の提供を行うとともに、児童生徒の心身の健全な発達と食に関する正しい理解と適切は判断力の養成が図られる。</p> <p>【令和元年度当初予算額】 97,262千円</p>	<p>・各学校の要望に応じ、調理員や配送ドライバーとの調整を図り、効果的かつ効率的な運用に務め、給食提供計画数である小学校195日、中学校190日においては、計画どおりの提供ができた。 令和元年度実績では、小学校312千食、中学校143千食であった。また、「西都の日」と称し毎月1回、地元農産物を使用した学校給食の提供や食育の推進に寄与できる資料となるよう、使用食材の紹介や生産者の声を記載した食育だよりを作成し、毎月の配布を実施した。 ・食物アレルギー児童・生徒への対応では、アレルギー対応希望児童生徒の保護者及び学校管理者等との三者面談を行い、可能な限り個々の症状に応じた提供を実施した。 令和元年度の実績では児童14名、生徒9名に除去食・代替食での対応を行い年間を通じ事故等も無く安全な提供ができた。 ・東米良地区では、単独校調理方式により銀鏡中学校調理場で平地校と同一の献立を基に山間部ならではの献立を取り入れるなど安定した給食の提供ができた。 令和元年度実績では、小学校約1,760食、中学校約3,700食であった。</p> <p>【令和元年度決算額】 91,895千円</p> <p>【指標等の達成状況】 給食センター及び銀鏡中学校調理場での安定した安全な給食の提供が実施できた。</p>
<p>(19) 共同調理場運営審議会事業</p>	<p>【目的】 共同調理場の適正かつ円滑な運営に資することを目的とする。</p> <p>【内容】 教育委員会の諮問に応じ、共同調理場の運営に資する重要な事項について調査及び審議を行う。</p> <p>【効果】 諮問機関である審議会の答申に基づき共同調理場の良好な運営ができる。</p> <p>【令和年度当初予算額】 45千円</p>	<p>【令和元年度決算額】 0千円</p> <p>【指標等の達成状況】 良好な運営となっており諮問事項等も無いため審議会の開催はなかった。</p>

中項目 2 生涯学習の推進

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価	
<p>(1) 社会教育総務費</p>	<p>【目的】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会教育の総合的な推進を図るため、市民の生涯学習相談及び指導、各種ボランティア団体及び社会教育関係団体の指導・養成等を強化する。 2. 豊かな人間性を養い、連帯意識や協調性に富んだ社会教育関係団体の育成充実に努める。 3. 年齢や生活体験の異なる子どもたちが集団のなかで役割と責任を認識し、自然体験や文化活動等、学校教育や家庭教育では得ることのできないものを提供する。 4. 青少年の問題行動や非行を未然に防ぐとともに健全育成を推進するため、学校、家庭、地域、関係機関、関係団体等と連携を図りながら、地域ぐるみの青少年健全育成を目的とする。 5. 社会人としての自覚や責任、誇りを持たせ、西都市という故郷に想いはせ、今までお世話になった方に感謝しつつ、社会参加を促進する。 6. 家庭教育はそれぞれの家庭の責任と判断に基づいて行うことが基本ではあるが、家庭教育に自信が持てなくなった親も見受けられることから家庭での教育について学ぶことのできる場の提供を行う。 <p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会教育関係団体に対する活動助成及び助言を行う。 2. 青少年健全育成事業として、ジュニアリーダー教室・子ども会リーダー研修・市指定子ども会公開・子ども会インリーダー教室を行う。 3. 青少年の指導相談・関係機関との連携・巡回指導報告のまとめ・青少年健全育成市民大会を開催する。青少年育成センターに青少年指導員をおき、指導及び相談にあたる。また、青少年指導委員（19名）を総括する。 4. 成人式典を開催する。 5. 家庭における子どもの教育について、必要な知識を一定期間で、計画的・継続的に学習する機会を提供する。 <p>【効果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会教育事業の推進母体として様々な社会教育活動を行っている。 2. 学校や家庭では体験することのできない自然のなかでの遊びや子ども会活動を通じて、自主性をもった行動や協調性が培われ、子どもの成長に大きく寄与し、また、子どもの育成に関し、地域と一体となった育成が推進できる。 3. 青少年の非行防止と健全育成に効果がある。 4. 成人式に参加して、郷土愛を育み、家族等のつながりを感じ取ってもらう。式典に参加し責任ある社会人を自覚する。 5. 同年代の子供を持つ親同士が、日常の出来事をはじめ、子ども達の様子を語り合うことから、子どもを多角的な視野で観ることができ、子どもへの理解が深まり、いろいろな疑問や問題等への解決の糸口を得ることで、子育てにゆとりを得ることができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会教育関係団体活動補助 <ul style="list-style-type: none"> ・西都市子ども会育成連絡協議会 ・西都市PTA協議会 ・西都市地域婦人連絡協議会 ・日本ボーイスカウト西都第1団 2. 青少年教育 <ul style="list-style-type: none"> ・インリーダー教室 (1月～3月) ・子ども会チャレンジサマーキャンプ (7月26日～28日) ・ジュニアリーダー教室 (5月～3月) ・県ジュニアリーダー研修会 (8月2日～4日) ・指定子ども会公開 11子ども会 3. 青少年 <ul style="list-style-type: none"> ・西都市青少年健全育成市民大会 (7月6日) ・西都市青少年育成連絡会 (11月14日) ・青少年指導委員による地域巡回指導 (5月～3月) 4. 成人式 <ul style="list-style-type: none"> ・新成人による成人式 (1月5日) 5. 家庭教育 <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校家庭教育学級 8学級 <p>【実績】 活動助成団体数 4団体 青少年の体験事業参加小学生数 (リーダー研修) 65人 西都市青少年健全育成市民大会参加者 331人 式典の新成人参加率 81% 家庭教育学級数 12団体 (8学級開級)</p> <p>【令和元年度決算額】 10,877千円</p> <p>【指標等の達成状況】 一部の指標については、数値目標に達しなかったものもあるが、計画した事業については、概ね予定どおり実施することができた。</p>	<p>4</p>

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価
	<p>【指標】 活動助成団体数 4 団体 青少年の体験事業参加小学生数 (リーダー研修) 85 人 西都市青少年健全育成市民大会参加者 350 人 式典の新成人参加率 85 % 家庭教育学級数 11 団体</p> <p>【令和元年度当初予算額】 11,956 千円</p>	
(2) 地域学校協働活動推進事業	<p>【目的】 過疎化の進行、家族形態の変容、価値観の多様化等を背景とした地域社会等のつながりや支え合いの希薄化により、「地域の学校」「地域で育てる子ども」という考え方が失われつつあるという指摘がある。地域と学校が相互に連携・協働し、社会総掛かりによる教育を実現することがますます重要となっていることから、そのための体制整備に努める。</p> <p>【内容】 これまでの地域人材や資源を活用した取組や活動を基本として、地域と学校とが目的・目標を共有した取組へ発展させる。先行して取組を行っている地域づくり協議会のこれまでの取組に加え、学習支援の取組についても検討していく。いずれは、地域づくり協議会(市内全7地区(校区))を主体とした地域学校協働本部の設置を目指す。</p> <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども コミュニケーション能力の向上や地域への理解・関心の深まりが期待できる ・学校 教員自身も地域の一員としての自覚を認識でき、教育者としての意欲の高まりと豊かな指導力の発揮につながる。 ・地域住民 活動をとおして地域住民の生きがいがづくりや自己表現につながる。 <p>【指標】 地域学校協働本部設置数 1 団体</p> <p>【令和元年度当初予算額】 455 千円</p>	<p>1. 三財地区(校区)をモデルとした事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区イベント「へそ祭り」への中学生の参画 ・三財中学校第1・2学年を対象としたキャリア教育 ・三財小学校第1・2学年を対象とした冬休み学習支援 <p>2. 西都市地域学校協働活動運営委員会の開催(5月20日・2月10日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市における地域と学校の課題の洗い出し ・地域学校協働活動のあり方について <p>【実績】・「へそ祭り」における、企画段階からの参画と当日の運営協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間を活用した12業種12名の「職業人講話」実施 ・地元在住の退職校長を講師とした学習支援 ・運営委員会出会委員数 延べ19名(運営委員全12名) <p>【令和元年度決算額】 123 千円</p> <p>【指標等の達成状況】 三財地域づくり協議会を通じて様々な取り組みを行ったことで、一定の成果を上げた一方、課題も見えてきた。今後も課題の解決策を講じながら、地域学校協働本部の設置に取り組む。</p>
(3) 公民館活動事業	<p>【目的】 社会教育法第20条(公民館は、住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする)により、実施している。</p> <p>【内容】</p>	<p>1. 市公民館・地区館講座の開設</p> <ol style="list-style-type: none"> ①市公民館講座数 パソコン講座等16講座(369名参加) ②地区館講座数 パソコン講座等18講座(257名参加) <p>2. 高齢者教室の開設</p> <p>教室数 7 教室 総計105名参加 妻地区49名 穂北地区11名 三納地区9名</p>

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価
	<p>◎市公民館・各地区館講座の開催 パソコン講座、水彩画講座など39の講座を開設。 ◎公民館に3名の社会教育指導員を配置。(一人2地区担当)各地区高齢者教室、各地区家庭教育学級、生涯学習の相談・指導を担当。 ◎高齢者教室(6地区)の開催 地域における高齢者相互の意志疎通を図るとともに、健康で生きがいのある人生を過ごせるよう、受講生の学習要求に応じたプログラムで実施するもの。市内在住の65歳以上の男女が対象。 ◎このはな学園の開催 69歳以下の市民を対象に、学ぶ喜び、集う楽しさを知ってもらい、生き活きと様々なことを学習できる場として、このはな学園を開催。</p> <p>【効果】 多くの市民に学習の機会を提供できる。</p> <p>【指標】 市公民館・地区館講座受講者数 900人</p> <p>【令和元年度当初予算額】 4,344千円</p>	<p>都於郡地区10名 三財地区18名 東米良地区8名 3.このはな学園の開設 17名参加</p> <p>【実績】 市公民館・地区館講座受講者数 626人</p> <p>【令和元年度決算額】 3,320千円</p> <p>【指標等の達成状況】 市公民館・地区館の各種講座については、講座内容の一部を見直すとともに生涯学習情報誌「はじめませんか生涯学習」を作成、全戸配布し情報発信に努めたが、指標としている受講者数の達成度は、約70%であった。</p>
(4) 公民館維持管理事業	<p>【目的】 市公民館・各地区館の維持管理を行う。</p> <p>【内容】 ◎市公民館の維持管理業務 ◎各地区館の維持管理業務</p> <p>【効果】 使用に支障をきたさないような維持管理が可能となる。</p> <p>【令和元年度当初予算額】 13,764千円</p>	<p>管理施設 ①市公民館 ②穂北地区館・三納地区館・都於郡地区館・三財地区館・東米良地区館</p> <p>【令和元年度決算額】 13,006千円</p> <p>【指標等の達成状況】 施設の老朽化等に伴う修繕を行うとともに、穂北地区館トイレの洋式化工事を行い、快適な利用環境整備に努めた。その他の事務については、予定どおり実施することができた。</p>
(5) 自治組織支援事業	<p>【目的】 地域住民にとって最も身近な存在として、また、生涯学習の活動の母体として重要な自治公民館組織に対して、活動の支援や施設維持のための補助金を交付する。</p> <p>【内容】 ◎各自治公民館活動への支援 ◎西都市自治公民館連絡協議会への支援 ◎自治公民館整備費補助金制度の実施 ◎特定騒音区域内自治公民館施設空調機器設置補助金 ◎コミュニティ助成事業補助金</p>	<p>◎各自治公民館活動への支援 活動報奨金 1館につき 30,000円×131館 ◎西都市自治公民館連絡協議会への支援 運営費補助金 360,000円 ◎自治公民館整備費補助金制度の実施 ・下水流自治公民館修繕工事補助 468,000円 ・山城自治公民館修繕工事補助 310,000円 ・上沖自治公民館修繕工事補助 183,000円 ・東樫野自治公民館修繕工事補助 504,000円 ・尾八重自治公民館新築工事補助 4,000,000円 ◎特定騒音区域内自治公民館施設空調機器設置補助金</p>

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価
	<p>【効果】 各自治公民館の活動支援と同時に、組織として各地区自治公民館連絡協議会、また、西都市自治公民館連絡協議会の育成を行うことにより、地域力の向上が図られる。</p> <p>【指標】 西都市自治公民館連絡協議会への加盟公民館数 131館</p> <p>【令和元年度当初予算額】 11,089千円</p>	<p>・松田自治公民館空調機器設置補助 300,000円 ・潮自治公民館空調機器設置補助 403,000円 ◎コミュニティ助成事業補助金 ・尾八重自治公民館建設 8,900,000円</p> <p>【実績】 西都市自治公民館連絡協議会への加盟公民館数 131館</p> <p>【令和元年度決算額】 22,909千円</p> <p>【指標等の達成状況】 西都市自治公民館連絡協議会への加盟公民館数は達成できた。</p>
(6) 図書館管理事業	<p>【目的】 生涯学習の拠点施設として魅力ある図書館とするため施設の維持管理を行う。</p> <p>【内容】 ○開館30年経過し老朽化により照明が暗く、館内照明及び非常灯のLED化のため改修工事を行う。</p> <p>【効果】 利用環境の改善、電気代の節約を図る。</p> <p>【指標】 年間入館者数 41,000人</p> <p>【令和元年度当初予算額】 27,148千円</p>	<p>【実績】 年間入館者数 65,384人</p> <p>【令和元年度決算額】 23,888千円</p> <p>【指標等の達成状況】 照明のLED化改修工事については、予定通り11月に実施でき、利用環境の改善ができた。電気代についても、照明として月約30,000円節約されており、更に維持費用の負担軽減も図ることができた。 入館者数は、約1.4倍増加し、指標達成できた。</p>
(7) 図書貸出事業	<p>【目的】 市民の教育と文化の発展に寄与するため、文献や資料の収集・整理・保存に努め、閲覧の場所を提供するとともに、市民の様々な学習活動を支援する。</p> <p>【内容】 ○図書館資料の収集・整理・保存・提供 ○貸出文庫</p> <p>【効果】 図書館資料の充実を図ることで利用者の多様なニーズに応えることが可能となり、市民の様々な学習活動の支援につながる。</p> <p>【指標】 貸出冊数 120,000冊</p> <p>【令和元年度当初予算額】 5,257千円</p>	<p>図書の充実 (令和2年3月31日現在) 蔵書数 86,951冊 一般図書数 56,745冊 児童図書数 30,206冊</p> <p>【実績】 貸出冊数 117,825冊</p> <p>【令和元年度決算額】 5,183千円</p> <p>【指標等の達成状況】 蔵書の充実を図った。なお、県立図書館および県内図書館からの相互貸借により、利用者へのサービスを図った。コロナウィルス感染対策影響により指標達成まではいかなかったが、概ね達成できた。</p>

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価
(8) 読書推進事業	<p>【目的】 本に親しむ環境づくりを図り、市民の読書推進に努める。</p> <p>【内容】 ○子ども読書の日イベント並びに毎月のイベント開催 ○夏休みイベント開催 ○西都市小学生読書感想文コンクールの実施 ○図書館まつりの開催 ○ブックスタート・ブックフォロー事業の実施</p> <p>【効果】 各種事業を行うことで、市民の読書意欲増進を図り、読書人口の増加につなげる。 また、ホームページ、フェイスブック、ツイッターにより、図書館事業の周知を図る。</p> <p>【指標】 西都市子ども読書活動推進計画策定 西都市小学生読書感想文コンクール 75作品</p> <p>【令和元年度当初予算額】 1,397千円</p>	<p>読書推進のために行った企画 (1) 図書のテーマごと展示 (2) 読書感想文コンクールの開催 (3) 貸出文庫 (団体貸出) (4) ブックスタート事業 (6ヶ月検診時に図書館の紹介と布バック・絵本を配布) ブックフォロー事業 (3歳児検診時に図書館の紹介と絵本を配布) (5) 絵本の読み聞かせ (6) 子ども読書の日イベント並びに毎月のイベント開催 (7) 図書館まつり コロナウィルス感染対策で中止 (8) 小学生1日図書館員 (9) 夏休みスタンプラリー (10) 年間多読賞表彰 (11) 学校図書室持込企画展示 (12) ホームページ、フェイスブック、ツイッター</p> <p>【実績】 西都市小学生読書感想文コンクール応募作品数 73作品</p> <p>【令和元年度決算額】 1,318千円</p> <p>【指標等の達成状況】 小学生読書感想文コンクールの応募作品数は指標を概ね達成できた。</p>
(9) 生涯学習推進事業	<p>【目的】 生涯学習の推進を行う。</p> <p>【内容】 ◎生涯学習フェスティバルの開催 ◎市生涯学習さわやか出前講座の開催</p> <p>【効果】 生涯学習への参加人数の増が図られる。</p> <p>【指標】 生涯学習フェスティバルの参加者及び来場者数 1,300人</p> <p>【令和元年度当初予算額】 1,992千円</p>	<p>◎生涯学習フェスティバルの開催 (3月1日～7日に開催予定としていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。参加者数 一人、来場者数 一人)</p> <p>◎市生涯学習さわやか出前講座の開催 (13講座 総参加者数403人)</p> <p>【実績】 生涯学習フェスティバルの参加者及び来場者数 一人</p> <p>【令和元年度決算額】 1,550千円</p> <p>【指標等の達成状況】 生涯学習フェスティバルは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったが、その他の事業は概ね予定どおりに実施することができた。</p>
(10) 青少年研修施設管理運営事業	<p>【目的】 宿泊体験を通じて、子ども達の自主性、協調性、忍耐力を養う場として青少</p>	<p>スポーツ少年団、中学校、高校及び専門学校のスポーツ部活動による青少年研修施設「まがたま館」の利用</p>

小項目（事業名）	目的・内容	点検・評価
	<p>年研修施設「まがたま館」の管理運営を行う。</p> <p>【内容】 勤労青少年、児童生徒及び指導者に研修の場を提供する。</p> <p>【効果】 施設利用を通じて、市内のスポーツ施設利用増や青少年の自主性、協調性、忍耐力を養い健全育成に寄与する。</p> <p>【指標】 宿泊者数 250人 利用団体数 10団体</p> <p>【令和元年度当初予算額】 3,156千円</p>	<p>【実績】 宿泊者数 253人 利用団体数 9団体</p> <p>【令和元年度決算額】 1,959千円</p> <p>【指標等の達成状況】 利用団体の種別に偏重は見られるものの、目標に掲げた指標については、概ね達成することができた。</p>

中項目 3 市民文化の継承と創造

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価
<p>(1) 文化財保存活用事業</p>	<p>【目的】 文化財の監視や委員会等、文化財の保存と活用に関連した事業を行う。</p> <p>【内容】 ○市内に所在する文化財の監視（年2回）や査察（文化財防火デー）、文化財保存調査委員会（年2回）により貴重な文化財の指定を行う等保存と活用を図る。 ○諸開発に伴う緊急発掘調査を行い、事業の調整に資する。</p> <p>【効果】 文化財の監視や査察、指定を行うことにより、歴史上価値の高い史跡等を次の世代に保存・継承していくことができる。また、県や保存会等関係団体と連携しながら世界文化遺産（西都原古墳）や、ユネスコ無形文化遺産（銀鏡神楽）の登録を目指して、情報発信や啓発活動を行い、文化財の活用を図る。</p> <p>【指標】 指定文化財数 1件（2年で2件）</p> <p>【令和元年度当初予算額】 6, 112千円</p>	<p>○文化財監視 史跡等の監視 8月、2月 文化財防火デー査察 2月3日 1回 文化財保存調査委員会 8月、3月の2回実施</p> <p>○緊急発掘調査 「周知の埋蔵文化財包蔵地」において土木工事等を実施しようする場合における緊急発掘調査（石貫遺跡、石野田遺跡、上野遺跡、上宮遺跡、上尾筋遺跡、上原遺跡、祇園原遺跡、寺崎遺跡、堂ヶ島遺跡、童子丸遺跡、中村遺跡、前原遺跡）</p> <p>【実績】 指定文化財数 3件</p> <p>【令和元年度決算額】 6, 382千円</p> <p>【指標等の達成状況】 大般若波羅密多経（麟祥院蔵）、木造薬師如来立像及び黒漆塗り厨子（黒貫寺蔵）を新たに市指定有形文化財美術工芸品として登録し、指標は達成できた。</p>
<p>(2) 日本遺産・南国宮崎の古墳景観活用協議会運営支援事業</p>	<p>【目的】 西都原古墳群（西都市）、生目古墳群、蓮ヶ池横穴群（宮崎市）、新田原古墳群（新富町）で構成する南国宮崎の古墳景観が日本遺産に認定されたことにより、3市町及びその他の関係団体で構成する「日本遺産 南国宮崎の古墳景観活用協議会」が実施する地域活性化事業の実施及び協議会の運営を支援する。</p> <p>【内容】 「日本遺産 南国宮崎の古墳景観活用協議会」の事業運営を支えるための貸付金及び負担金。</p> <p>【効果】 広域連携による観光振興、地域活性化を図ることができる。</p> <p>【指標】 協議会が実施する地域活性化事業数 7件</p> <p>【令和元年度当初予算額】 20, 690千円</p>	<p>日本遺産事業（10事業） （1）南国宮崎の古墳景観ガイド養成講座等企画運営事業 （2）南国宮崎の古墳景観活用のためのミュージカル公演 （3）南国宮崎の古墳景観活用のための絵本作成事業 （4）「古墳でこーふん健康体操」制作・PR事業 （5）合唱曲「古代のハーモニー」制作事業 （6）旅行商品開発に向けたモニターツアー （7）商品開発に向けた古墳レシピコンテスト （8）前方後円墳曲げワッパの開発 （9）ロゴマーク使用条件の整理事業 （10）南国宮崎の古墳景観ホームページ運営事業</p> <p>【実績】 上記10事業を実施した。</p> <p>【令和元年度決算額】 20, 364千円</p> <p>【指標等の達成状況】 10事業を実施し達成。</p>

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価	
<p>(3) 日向国府跡保存整備事業</p>	<p>【目的】 日向国府跡確認調査により保存管理計画に基づき、発掘調査（確認調査）を行い、保存整備を進める。</p> <p>【内容】 日向国府跡指定地内について、遺構の特定及び保存整備データ蓄積のための発掘調査（確認調査）を年次的に行う。本年度は、遺構配置と構造を明らかにすることを目的に遺構確認調査を実施する。</p> <p>【効果】 日向国府跡については、西都原古墳群及び周辺整備構想においても日向国分寺跡・都於郡城跡同様観光の目玉として位置づけられており、日向国府の保存と活用が図られれば、西都市の活性化に繋がる。</p> <p>【令和元年度当初予算額】 5, 884千円</p>	<p>・総括報告書作成作業 調査期間 平成31年4月～令和2年3月 調査経費 4, 487千円 作業内容 平成23～30年度に実施した日向国府跡確認調査により判明した遺構配置や変遷を明らかにするための整理作業及び出土遺物の分析を実施した。</p> <p>【令和元年度決算額】 4, 487千円</p> <p>【指標等の達成状況】 本年度は、報告書発刊を令和2年度に控え、これに向けての整理作業及び報告書作成作業、更には日向国府跡保存整備検討委員会を年2回開催した。これにより日向国府跡の変遷過程が明らかになるなど、指標は達成できた。</p>	5
<p>(4) 日向国府跡史跡等買上げ事業</p>	<p>【目的】 平成17年7月14日付で国史跡として指定を受け、平成24年9月19日付で追加指定を受けている。しかしながら、この地域は宅地化がされるなど環境が急変しているため、風致保存上および活用面で支障を来している。そのため、史跡の保存と活用を図ることを目的に、国庫補助事業（買上げ事業）を導入して継続的に公有化を図り、日向国府跡の保存と活用を行う。</p> <p>【内容】 追加指定とされたところについて、平成28年度より年次的、継続的に公有化を図る。</p> <p>【効果】 公有化することにより、日向国府跡の保存が図られ、整備することにより、観光の拠点として、西都市の活性化に繋がる。</p> <p>【指標】 公有化 4筆 1, 167. 83㎡</p> <p>【令和元年度当初予算額】 106, 496千円</p>	<p>○買上げの実施 土地鑑定 令和元年6月～令和元年7月 鑑定委託料 378千円 物件調査 令和元年6月～令和元年8月 物件調査委託料 2, 268千円 買上げ面積 1, 167. 83㎡ 買上げ費用（補償費含む）87, 042千円 事業費総額 89, 700千円</p> <p>【令和元年度決算額】 89, 943千円</p> <p>【指標等の達成状況】 目標面積の公有化を完了し、指標は達成できた。</p>	5
<p>(5) 文化財整備運用事業</p>	<p>【目的】 未指定文化財の調査など、文化財の整備運用に関連した事業を実施する。また、埋蔵文化財管理作業所を運営する。</p> <p>【内容】</p>	<p>○未指定文化財の市指定に向けた調査 ・岩爪俵踊りの奉納に文化財保存調査員による現地調査を実施。 ○旧三財中学校の事務室修繕 ○埋蔵文化財管理作業所 電気、ガス、水道、コピー・プロッターリース等</p>	5

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価
	<p>○未指定文化財を指定するための専門的な調査を依頼する。 ○埋蔵文化財管理作業所の運営を行う。 ○三財中学校（廃校）への考古・民俗・市史編さん資料の移転・収蔵</p> <p>【効果】 未指定文化財の市指定を行うことにより、保全意識を高め、保存と活用が図られる。</p> <p>【令和元年度当初予算額】 3,694千円</p>	<p>【令和元年度決算額】 3,658千円</p> <p>【指標等の達成状況】 未指定文化財の調査や埋蔵文化財管理作業所の運営。 旧三財中学校の事務室修繕を実施し、概ね達成できた。</p>
(6) 文化財維持管理事業	<p>【目的】 市内に所在する史跡をはじめ、文化財関係施設の維持管理を図る。</p> <p>【内容】 ○国有古墳・日向国分寺跡・日向国府跡・西都原古墳群・都於郡城跡・新田原古墳群等の史跡、木喰五智館・有楽椿の里・都於郡城跡のトイレ等文化財関連施設の維持管理を委託して行う。 ○県指定古墳の名称変更に伴う標柱建替業務委託を行う。</p> <p>【効果】 史跡等の文化財及び関連施設の維持管理を行うことにより、活用が図られる。</p> <p>【令和元年度当初予算額】 18,512千円</p>	<p>○史跡の管理 国有古墳・日向国分寺跡・日向国府跡・西都原古墳群・都於郡城跡・新田原古墳群・穂北城跡等史跡 11件</p> <p>○文化財関連施設の管理 木喰五智館・有楽椿の里・都於郡城跡等のトイレ等 5件</p> <p>○県指定古墳の名称変更に伴う標柱建替の実施</p> <p>【令和元年度決算額】 18,484千円</p> <p>【指標等の達成状況】 史跡の管理、文化財関連施設の管理については、機械警備やシルバー人材センター等に委託しており、概ね達成できた。</p> <p style="text-align: right;">5</p>
(7) 都於郡城跡法面保存整備事業	<p>【目的】 自然災害等により法面の崩落及び亀裂が生じていることから、平成13年度から国庫補助を導入して年次的に保護策を行う。</p> <p>【内容】 ○三ノ丸跡北側法面について、ジオファイバー工法により保護工事を行う。</p> <p>【効果】 法面の保護により都於郡城跡の安定が図られ、発掘調査の成果を基に保存整備が行われることにより、観光面からも、西都市の活性化に繋がる。</p> <p>【指標】 「三ノ丸跡」工事対象区域（国指定範囲） 面積 357㎡</p> <p>【令和元年度当初予算額】 25,124千円</p>	<p>○法面保護工事 工事期間 令和元年6月～令和2年3月 請負金額 13,743千円</p> <p>【令和元年度決算額】 13,990千円</p> <p>【指標等の達成状況】 法面保護工事の実施について、年度内に工事が完了し、指標は概ね達成できた。</p> <p style="text-align: right;">5</p>

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価	
(8) 都於郡城跡法面災害復旧事業 (繰越分)	<p>【目的】 平成30年9月30日の台風24号の豪雨により崩落した、本丸北側と東側法面の災害復旧工事を実施する。</p> <p>【内容】 ○本丸北・東側崩落箇所をジオファイバー工法用いて保護工事を行う。</p> <p>【効果】 法面の保護工事により都於郡城跡の安定が図られる。</p> <p>【指標】 「本丸跡」工事対象区域 (国指定範囲) 面積 253㎡</p> <p>【令和元年度当初予算額】 8,800千円</p>	<p>○法面保護工事 工事期間 令和元年6月～令和2年3月 請負金額 8,580千円</p> <p>【令和元年度決算額】 8,800千円</p> <p>【指標等の達成状況】 繰越し事業として実施した工事について、年内に工事が完了し、指標は達成できた。</p>	5
(9) 市内遺跡発掘調査事業	<p>【目的】 事業課で予定されている諸開発事業に伴う発掘調査について確実に実施する。また、市内各地から発掘調査等で出土した貴重な鉄器類の腐食が著しいことから、保存処理を行い、活用を図る。さらに、市内の遺跡から出土した遺物の整理作業及び報告書作成補助等を行う。</p> <p>【内容】 ○鉄器類について、専門の業者に委託して防錆・恒久化等の保存処理を行う。本年度は、寺原古墳から出土した鉄器類の保存処理を実施する。 ○遺物の整理を行い、報告書作成の補助的な作業を行う。</p> <p>【効果】 市内から出土した鉄製品などの保存処理を行い恒久化することで、歴史民俗資料館に展示する遺物の充実が図れる。また、発掘調査により出土遺物の整理を行うことで、報告書作成が円滑に進められる。</p> <p>【令和元年度当初予算額】 5,822千円</p>	<p>○保存処理委託 委託物件 寺原古墳出土 直刀等 3点 委託期間 平成31年4月～令和2年3月 委託料 997千円</p> <p>○整理作業員 1名 平成31年4月～令和2年3月 市内の遺跡から出土した遺物の整理作業及び報告書作成補助等</p> <p>【令和元年度決算額】 2,157千円</p> <p>【指標等の達成状況】 発掘調査に伴う整理作業や出土品の保存処理委託を行い、概ね達成できた。</p>	5
(10) 日向国分寺跡保存整備事業	<p>【目的】 平成23年9月21日付で国史跡として指定を受けており、その指定地は宅地や畑地が多く、大部分が民有地である。その為、周辺地域では宅地化が急速に進んでおり、指定地への影響も懸念されることから早急に買い上げを含めた保存整備をする必要がある。そのため、平成24年度から国庫補助事業（買い上げ事業）を導入して継続的に公有化を図り、日向国分寺跡の保存と活用を行う。</p>	<p>○買い上げの実施 土地鑑定 令和元年6月～7月 鑑定委託料 540千円 物件調査 令和元年6月～8月 物件調査委託料 2,656千円 買い上げ面積 1,404.13㎡ 買い上げ費用 (補償費含む) 45,225千円 事業費総額 48,440千円</p>	5

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価
	<p>【内容】 ○国指定地を平成24年度から年次の継続的に公有化を図る。</p> <p>【効果】 公有化することにより、日向国分寺跡の保存が図られ、整備することにより、観光面からも、西都市の活性化に繋がる。</p> <p>【指標】 公有化 3筆 1,404.13㎡</p> <p>【令和元年度当初予算額】 55,347千円</p>	<p>【令和元年度決算額】 48,681千円</p> <p>【指標等の達成状況】 目標面積の公有化を完了し、指標は達成できた。</p>
(11) 伊東満所 (マンショ) 顕彰事業	<p>【目的】 郷土の偉人、伊東満所 (マンショ) の顕彰事業を行い、伊東満所 (マンショ) の功績を称えていく。</p> <p>【内容】 郷土の偉人、伊東満所 (マンショ) に対する理解と認識を深めるため、マンショ関係講座のほか、マンショゆかりの地を巡るツアーなどを実施する。</p> <p>【効果】 事業を通じて、郷土の偉人「伊東満所 (マンショ)」の歴史的価値を再認識することができる。また、伊東満所 (マンショ) の生まれた都於郡城 (国史跡) と併せて、地域の活性化が見込める。</p> <p>【令和元年度当初予算額】 296千円</p>	<p>郷土の偉人、伊東満所 (マンショ) を顕彰するためのイベント等を実施した。</p> <p>○イベントの実施 ・ナウマン象発掘体験 (参加者6名)</p> <p>○令和遣欧少年使節報告会</p> <p>【令和元年度決算額】 141千円</p> <p>【指標等の達成状況】 伊東満所 (マンショ) を顕彰するためのイベント等の実施について、ナウマン象発掘体験や令和遣欧少年使節報告会を開催することはできたが、伊東満所 (マンショ) ゆかりの地を巡るツアーがコロナウイルスの関係で実施できなかった。</p> <p style="text-align: right;">4</p>
(12) 都於郡城跡ガイダンスセンター建設事業	<p>【目的】 都於郡城跡の発掘調査も進み国指定の史跡となり、中世の日向伊東48城の牙城であった都於郡城の全貌が見えてきた。発掘調査までで終わるのではなく、この発掘調査の結果等を地域観光資源として活用するため、本事業を実施する。</p> <p>【内容】 中世の日向伊東48城の牙城であった都於郡城の案内説明及び、伊東満所 (マンショ) 関係資料の展示、物産販売等を兼ね備えた、ガイダンスセンター建設事業の推進</p> <p>【効果】 本事業により、伊東満所の生まれた都於郡城跡 (国史跡) のガイダンスを行い、併せて、郷土の偉人「伊東満所 (マンショ)」の歴史的価値を再認識することができる。さらに、中世伊東48城の牙城 (都於郡城) と</p>	<p>【都於郡城跡ガイダンスセンター建設事業】 都於郡城跡ガイダンスセンター建設検討委員会を7・10・2月の3回開催し、建設パターンの比較、アグリ館を活用した整備の提案、今後のスケジュールと整備に向けた体制づくりについて検討を行った。また、8月には「協働の地域づくり懇談会」で建設計画及び運営方針について説明を行った。</p> <p>【令和元年度決算額】 118千円</p> <p>【指標等の達成状況】 都於郡城跡ガイダンスセンター建設については、今後は (仮称) 西都市歴史民俗資料館都於郡館として、神楽酒造アグリ館の一部を借り受け、施設整備及び整備に向けた体制づくりを行っていく提案を行い、了承を得た。</p> <p style="text-align: right;">4</p>

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価
	<p>天正遣欧少年使節の首席伊東満所（マンショ）のブランドにより地域の活性化が見込める。</p> <p>【令和元年度当初予算額】 322千円</p>	
<p>(13) 文化振興事業</p>	<p>【目的】 市民の芸術文化振興を図るため、西都市総合文化祭等の西都市主催事業の開催及び市内の芸術文化団体を支援する。</p> <p>【内容】 西都市総合文化祭として美術展と芸能大会を開催し、美術品の出品者や市内で活動する芸能団体の活動意欲の向上を図る。また、市内で活動する芸術文化団体の活動を支援するため、事業費補助を行い文化振興を進めていく。</p> <p>【効果】 市民の文化意識が向上することにより、心が安定し生活意欲が向上する。また、市民に発表と鑑賞の機会を提供することにより、参加した人には更なる創造意欲の向上を、鑑賞した人には身近な地元の作品や芸能に触れることにより芸術文化活動への参加を促す。</p> <p>【指標】 総合文化祭来館者数 1,300人</p> <p>【令和元年度当初予算額】 1,570千円</p>	<p>西都市自主文化事業 ・西都市合唱祭 (3月7日) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>西都市総合文化祭 ・美術展 出展総数 104点 (10月19日～27日) ・芸能大会 (11月3日)</p> <p>芸術文化団体支援 西都市文化連盟、西都市美術協会</p> <p>【実績】 総合文化祭来館者数 1,140人</p> <p>【令和元年度決算額】 1,908千円</p> <p>【指標等の達成状況】 総合文化祭の開催にあたり、市のホームページやフェイスブック等を活用して情報発信を行ったが、来館者数については目標に達することができなかった。それ以外の事務については、予定どおり実施することができた。</p>
<p>(14) 歴史民俗資料館管理運営事業</p>	<p>【目的】 文化遺産に対する市民の意識向上と理解を深めるために歴史民俗資料の保存と展示の内容充実を図る。</p> <p>【内容】 ○歴史民俗資料館の管理運営 ○企画展の開催</p> <p>【効果】 企画展を開催することにより、文化遺産に対する市民の意識向上と理解が更に深められる。</p> <p>【指標】 入館者数 1,500名</p> <p>【令和元年度当初予算額】 5,082千円</p>	<p>○歴史民俗資料館の管理運営 取蔵庫ガス燻蒸・エレベーター保守点検・警備委託等</p> <p>○企画展①「宮崎県の古墳文化」 展示内容 日本遺産に認定された西都原古墳群・生目古墳群・新田原古墳群・蓮ヶ池横穴群を中心に、宮崎平野部に展開した古墳と古墳文化の特徴を分かりやすく解説するパネルを展示。各古墳群の空撮や調査時の写真、出土遺物の写真、図面等を多く使用し、近年の研究成果や調査成果を盛り込んだ資料展示。 期 間 令和元年7月30日(火)～令和元年9月1日(日) 入館者数 228名</p> <p>○企画展②「九州・沖縄地区の日本遺産」 展示内容 平成30年5月、西都原古墳群・生目古墳群・新田原古墳群の宮崎県を代表する3つの古墳群を取り巻くストーリーや景観が「南国宮崎の古墳景観」として日本遺産に認定された。現在までに九州では13の日本遺産が認定されており、今回、これら日本遺産のストーリーや文化的価値をわかりやすく解説。</p>

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価
		<p>期 間 令和2年2月4日(火)～令和2年3月8日(日) 入館者数 108名</p> <p>【実績】入館者数 1,536人 大人 493人 小人 1,043人</p> <p>【令和元年度決算額】 5,268千円</p> <p>【指標等の達成状況】 ガス燻蒸や、夜間や休日の機械警備を行い、歴史民俗資料の保存を的確に行った。また、企画展を年2回実施し入館者増を図ったが、コロナウイルス等の影響もあり、大幅な入館者増には繋がらなかった。年間入館者数は概ね指標を達成できた。</p>
(15) 市史編さん事業	<p>【目的】 西都市の市史を編さんすることにより、郷土の歴史を記録し、市民に広く理解してもらうとともに、魅力ある郷土の文化を後世に伝える。</p> <p>【内容】 西都市史発刊の情報発信に努め、西都市関係資料の調査・収集・保存を継続して行う。 ○西都市関係資料の調査・収集・保存 ○資料保管室の環境整備</p> <p>【効果】 市史の発刊は、地域の歴史的経過を記録し、市民に広く理解してもらうとともに、魅力ある郷土の文化を後世に伝える役割を果たす。また、市関係の歴史資料を調査・収集・保存し、市の文化活動に活用できるように整備する。</p> <p>【指標】 市史販売 5セット</p> <p>【令和元年度当初予算額】 3,001千円</p>	<p>○西都市関係資料の調査・収集・保存 ・西都市関係新聞記事調査、収集した資料の分類・整理・保存 ○資料保管室の環境整備 ・害虫駆除のための燻蒸を実施(年1回)</p> <p>【実績】 通史編6部 資料編6部 年表編5部を販売した。</p> <p>【令和元年度決算額】 2,968千円</p> <p>【指標等の達成状況】 西都市史の販売については年々売上が減少しており、販売が難しくなっているが、指標は概ね達成できた。</p>
(16) 市民会館管理事業	<p>【目的】 市民会館から市民に向けた芸術文化の情報発信や施設整備など、市民会館の管理運営を行う。</p> <p>【内容】 平成28年度から新たな指定管理者による管理運営となったが、市民の文化、教養及び福祉の増進を図るため、引き続き会館としての役割を継続する。ホール及び会議室等の貸し出し、文化事業の運営のためには、各種保守点検を定期的に行い、利用者の利便性・安全性を確保しておく</p>	<p>西都市市民会館文化事業 (15事業)</p> <p>(1) 米国空軍太平洋音楽隊ーアジア Pacific Showcase in Saito (555名) 4月28日(日)</p> <p>(2) 森山直太郎コンサートツアー 2018～19 人間の森 (1,000名) 5月19日(日)</p> <p>(3) 坂本サトル アコースティックロビーコンサート(51名) 6月22日(土)</p> <p>(4) 第20回オカリナ太鼓コンサート (954名) 9月7日(土)</p> <p>(5) 第25回宮崎・音のスケッチブックコンサート(130名) 10月13日(日)</p>

小 項 目 (事業名)	目 的 ・ 内 容	点 検 ・ 評 価
	<p>必要がある。</p> <p>【効果】 市民の文化芸術鑑賞や舞台発表など、文化交流の場としての環境確保が図られる。</p> <p>【指標】 市民会館利用者数 39,000人</p> <p>【令和元年度当初予算額】 100,136千円</p>	<p>(6) コノハナサクヤ姫の花ものがたり このはな咲くよコンテスト (17名) 10月13日(日)</p> <p>(7) 宮川彬良×米良美一 ふたりの歌謡ショウ (435名) 10月17日(木)</p> <p>(8) さいと子どもフェスティバル2019 (230名) 11月3日(祝)</p> <p>(9) 市民提案型ロビーコンサート 「カルマ・ル・ソイヤ」(86名) 12月7日(土)</p> <p>(10) 夏川りみコンサート (650名) 12月14日(土)</p> <p>(11) 太鼓Energy2019 (583名) 12月22日(日)</p> <p>(12) はじめてのクラシック ♪in 西都 (23名) 2月29日(土)</p> <p>(13) 市民提案型ロビーコンサート 「長友晴久ロビーコンサート」(一名) 3月21日(土)</p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>(14) 元気と夢をみんなに届けようプロジェクト(受付中) 令和2年3月～</p> <p>(15) 市民大学講座 (172名) 通年</p> <p>【実績】 市民会館利用者数 29,608人</p> <p>【令和元年度決算額】 98,548千円</p> <p>【指標等の達成状況】 指標としている市民会館利用者数の達成度は、昨年度の市制施行60周年記念事業効果による約91%から一転し、新型コロナウイルス感染症拡大によるキャンセルが相次いだことから、約76%にまで低迷した。</p>

総合評価

「教育委員会の活動」については、自己研鑽による資質の向上を図るとともに、学校等教育施設の訪問及び各種研修への参加などにより、定例委員会における活発な協議を実現することができました。

また、教育委員会と学校との更なる情報共有を図るため、教育長のみが参加していた学校経営ビジョン説明会に、教育委員会委員も参加することとしました。

「教育委員会が管理・執行する事務」については、「平成31年度教育基本方針並びに教育施策」を策定し、総合的な教育施策を定めました。

また、「西都市部活動指導員設置要綱」、「西都市地域学校協働活動運営委員会設置要綱」の制定をはじめ、「西都市奨学資金貸付条例施行規則」など5つの規則の一部改正、「西都市立小中学校市費負担臨時教員設置規則」「西都市社会教育指導員に関する規則」「西都市立小中学校非常勤職員設置要綱」「都於郡城跡ガイダンスセンター建設検討委員会設置要綱」の廃止を行い例規等の整備に努めました。

「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」については、常に事業の効果について検討し、事務の改善を図ってまいりました。

主な事業を中項目別で見えますと、「学校教育の充実」については、35人以上の学級及び複式学級の解消を図ることを目的に、市費負担教員を配置いたしました。

学校再編に関しては、市立中学校の適正規模について「市立中学校の適正規模についてのアンケート調査」を実施し、西都市学校再編調査検討委員会において調査・研究を行った結果、「西都市立中学校において、1学年1学級の学校規模は、適正規模ではない。」「上記の学校規模を解消するため、中学校の再編が必要である。」との報告がなされ、令和2年2月26日の定例教育委員会において「西都市中学校再編基本方針」を策定し、市立中学校の再編推進を決定いたしました。

また、施設管理において、学校施設の整備及び点検を計画的に行うため、西都市学校施設等長寿命化計画を策定いたしました。併せて、防衛省補助により年次的実施に取り組んでいる空調設備機能復旧工事を三納小中学校で実施いたしました。

更には、遊休施設の活用を図るため、妻南地区の教職員住宅を農政課に移管するとともに、銀鏡地区の教職員住宅を地域の活性化に使用することを条件に無償譲渡いたしました。

「生涯学習の推進」については、地域学校協働活動に関し、地域づくり協議会を母体とした地域学校協働本部の設置を目指し、三財地区(校区)をモデルとした事業を推進しましたが、一定の成果を上げた一方、課題も出てきました。

「市民文化の継承と創造」については、施設の規模や構造の見直しを行い、社会教育施設としての整備を再検討していくこととなった都於郡城跡ガイダンスセンター建設において、今後は(仮称)西都市歴史民俗資料館都於郡館として、神楽酒造アグリ館の一部を借り受け、施設整備及び整備に向けた体制づくりを行っていく提案を行い、了承を得ました。

令和2年度は「第4次西都市総合計画」及び「西都市教育大綱」の計画期間の最終年度となることから、再度、各事業の意義や取組内容、課題等を検証し、新たな総合計画、教育大綱の策定に反映させ、効果的な事業推進に努めてまいります。

点検・評価委員の意見

令和元年度の教育委員会の権限に属する事務の執行に関する点検・評価につきましては、第4次西都市総合計画及び教育基本方針並びに教育施策に基づく目標に向けて、概ね予定どおり実施できており、達成状況は良好であると判断します。

大項目ごとの意見については、以下のとおりです。

「教育委員会の活動」については、毎月の会議や研修会へ積極的な参加がなされ、会議録など適切な情報公開も図られています。また、総合教育会議などにおいて、市長と事業推進に関する議論を行うなど、活発な活動が展開されています。

また、今まで教育長のみが参加していた「学校経営ビジョン説明会」に教育委員が参加し、学校との情報共有を更に深めるため学校長と直接意見交換等を行うなど新たな取組もなされています。

「教育委員会が管理・執行する事務」については、教育基本方針並びに教育施策の見直しなど、変化に対応した事務手続きが確実に執行されています。

「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」については、多くの事務事業を実施されているなか、概ね年度当初の目的を達成されていると認められます。

なお、個々の事務事業に関し、次のような意見があったところです。

- 中学校再編について、できるだけ早く具体的なスケジュール等を示し、十分な協議・検討が行われるよう取り組んでいただきたい。
- 指定子ども会公開の在り方や、子ども育成連絡協議会の取組について、少子化等による時代の変化に対応しながら、活動の充実に努めていただきたい。
- 史跡等の案内・標識等の設置について、内容が分かりやすく人目に触れやすいものが設置されるよう関係各位と連携を図っていただきたい。

教育分野は指標による数値化だけでは見えない成果や課題があると思われることから、数値では見えない取組など評価できる内容も点検・評価に取り入れることで、より充実した報告になると考えます。

令和2年度は、「西都市総合計画」及び「西都市教育大綱」の策定も控えていることから、今後も、点検・評価の方法・内容の見直しも含めた改善等に取り組んでいただき、更に分かりやすい点検・評価等の報告に努めていただくとともに、教育行政が更に充実・発展することを期待します。